

留 学 報 告 書

記入日：2018年9月21日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文：カリフォルニア大学バークレー校 現地言語：
留学期間	2018年5月～2018年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年8月17日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期： 2学期： 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料	\$8118.28	円	
宿舍費		JPY493168	
食費		JPY50000	
図書費		JPY10000	
学用品費		JPY30000	
教養娯楽費		JPY50000	
被服費		-	雑費詳細
医療費		JPY0	
保険費		JPY21280	形態：大学指定保険
渡航旅費		JPY169982	
雑費		JPY100000	被服費、図書費、学用品費含む
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		約 1860000 円	1ドル 115 円計算

渡航関連

渡航経路: NRT~SFO、SFO~NRT

渡航費用

チケットの種類 往復券

往路 _____

復路 _____

合計 JPY169982

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

なし

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学寮

2)部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 1)

3)住居を探した方法:

大学ホームページ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

相部屋は当たる人次第だが寮の設備はとても充実している

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

親

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学現地生の生情報

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、キャンパス共に Wi-Fi 接続良好。ただし寮は夜中の人がたくさんいる時間はたまたま繋がらなくなった

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Cash Passport で日本から入金

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

電気ケトル

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に指定クレジットカード

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
シリコンバレーへの訪問
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
ゲーム業界、広告
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
働いて見たいという企業を現地で生で見ることができモチベーションにつながった
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
11 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FILM 108 Game of Thrones	ゲーム・オブ・スローンズ
科目設置学部・研究科	FILM
履修期間	Session A
単位数	4
本学での単位認定状況	申請中 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション、放映(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 300 分が 2 回、1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Renee Pastel
授業内容	ドラマ「Game of Thrones」を題材に、映像作品の技法を学ぶ。ストーリーの根本部分のテーマについて深くディスカッションしたり、撮影技法を実際に授業中ドラマを見ながら考えてみたりする。授業はディスカッション兼講義兼放映が月水金に 3 時間、授業後のさらなる放映が月水に2時間行われ、どちらも参加必須。授業が始まる前に最初の 2 シーズンを全て見ておくことが必須でそれを理解した前提で授業が進む。毎回の授業でリーディングが課せられ、授業の前半はそのリーディングに基づいたディスカッションを行い、授業の真ん中で新しいエピソードを一話見て授業の後半はそれについてディスカッションする。
試験・課題など	持ち帰りのショートペーパーが 1 つ、中間論文が 1 つ、1 授業内論文が 1 つ
感想を自由記入	とても面白い授業だったが相当高い英語理解能力及び発言能力がある前提とした授業。受講生も自分以外は現地生で院進が決まった4年生ばかりだった。先生は PHD を学んでいる生徒が代わりに行く。映画技法や映像作品に関する事前知識がないと全然授業についていけないためこのドラマの大ファンで、なおかつ帰国子女じゃない限りお勧めできない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
MUSIC 29 Music Now		ミュージックナウ	
科目設置学部・研究科	Music		
履修期間	Session D		
単位数	4		
本学での単位認定状況	申請中 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義及び実践(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が3回		
担当教授	Edmund Campion		
授業内容	世の中にある様々な音楽及び音を「聞く」ということを学ぶ。ただ聞き流すのではなく、その音は何で構成されているのか、どのような環境で録音されているのか、どのようなストーリーがあるのか、いろんな視点で「音」を「聞く」ことについて学ぶ。授業は火~木に講義兼実験の授業が180分行われ、先生がいろんな「音」を提供してくれる。それに対して生徒がいろんな意見を出し合い、ディスカッションしながら音を分解して理解していく。最初の4週間は耳の構造を含めた「音」を理解するために必要な言葉、定義などを徹底的に叩き込まれ、最後の2週間で学んだ定義などを使いながら「音」を分解していく。		
試験・課題など	最初の4週間:オンラインアールティクル熟読とそれに対するレスポンス課題 最後の2週間:音楽分析課題が1つずつ 授業内に中間試験(定義確認)と期末試験(授業内音楽分析)		
感想を自由記入	学部1年生むけに開講していることもあって敷居はそんなに高くないが、最初の定義を叩き込まれているときにしっかり食らいついていけなくて試験が全く何もできなくなる。先生はいろんな音楽、音を提供してくれるので音楽の価値観などが変わる良いきっかけになった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
COLWRIT 5A English through out Broadway Musicals		ブロードウェイミュージカルを通じた英語	
科目設置学部・研究科	COLWRIT		
履修期間	Session D		
単位数	3		
本学での単位認定状況	申請中 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	David Frasca		
授業内容	アメリカの歴史についてブロードウェイミュージカルを使って学ぶ。ライティングの授業かと思いきや講義中心で書くことは課題以外何もない。1890年代のアメリカを舞台としたブロードウェイミュージカル(Show Boat)から始まり Rent まで授業内で扱い歴史を追う。最後の週はグループに分かれ選択したミュージカルを今までの講義のようにプレゼンする。		
試験・課題など	授業内で取り扱ったミュージカルのアナライズが6つ、プレゼン1つ、期末試験1つ		
感想を自由記入	ライティングの授業かと思いきや課題で6回簡単な質疑応答を書くだけでそれに関して何も添削されず成績に計算される。ブロードウェイの歴史について詳しくなりたい人、ミュージカルが好きなお勧めだが英語力を鍛えたいという人には他の授業をお勧めする。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学
8月～9月	TOEIC 受験
10月～12月	
2017年 1月～3月	TOEIC 受験、フジテレビ協賛海外ロケプログラム(NZ)参加
4月～7月	
8月～9月	留学を決意
10月～12月	参加申請
2018年 1月～3月	必要書類作成/提出、寮の応募、授業選択
4月～7月	VISA 申請、5月出国
8月～9月	8月帰国
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	帰国子女ということもあり、自分の英語力がアメリカの大学に通用するの確かめてみたかったです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語力向上もちろん大事だと思いますが、現地生の知識量が日本の学生と比べてとても多いです。そのため取る授業を決めたらすぐにその授業に関する勉強を始めることが大事だと思います。特にアッパーの授業は前提知識の量が多いので、授業選びは慎重に行うことが大事だと感じました。
この留学先を選んだ理由	高校の頃から憧れていた大学だったのでこれを機に留学を決めました。
大学・学生の雰囲気	キャンパスは古い建物を残しつつ、歴史と伝統をととても大事にしている感じがしています。生徒はとてもフレンドリーで自分から話しかけに行けばすぐ友達になれる方が多かったです。
寮の雰囲気	寮:International House 大きい寮ということもあって多国籍な方が入居しています。現地生も寮にいたりスタッフをしているのでその方と友達になれば大学の案内などもしてくれました。設備もしっかりしていて何も不便に感じない寮でした。
交友関係	積極的にいろんな人に話しかけに行けば交友関係には何も困りませんでした。寮の食堂もとても広いのでそこでみんなで集まって食事をしたり、新しい人を見つけて気軽に話しかけられる雰囲気です。
困ったこと、大変だったこと	リネン一式と冷蔵庫がレンタルなので申請を忘れるとしばらくそれらが使えません。特にリネンはマットレスがある状態で部屋に入れられるので、事前に必ず申請するか日本から持っていくことをお勧めします。
学習内容・勉強について	自分はFILMを専攻したのですが、明らかに現地生の知識量と比べて劣っていたので事前にしっかり予習しておくことが授業についていく1番の近道でした。予習と復習をしっかりして先生とコミュニケーションを取れば特に困ることはなかったです。
課題・試験について	映像教材が多かったためメディアライブラリーへの通いが多かったです。そこが7:00に閉館して、週末は空いてなかったので資料を見るときなどはとても苦労しました。試験自体はちゃんと勉強していれば何も問題はなくなることができました。

大学外の活動について	現地生徒との多くと友人になり、現地生徒と過ごすことが多かったで3洲。サンフランシスコに出かけたり、シリコンバレー、ナパバレーなど遠出をすることも多かったです。
留学を志す人へ	カリフォルニア大学は留学するにはとても敷居が高い大学ですが、英語を話すことへのモチベーション、勉強をすることに対するモチベーションがあれば乗り越えられる留学だと思います。こんな機会滅多にないので迷っていたら飛び込むことをお勧めします。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	ジム	ジム	遅めの朝食	ジム	遅めの朝食	遠出するための準備	サンフランシスコへ
	予習	復習	予習	復習	予習		
午後	講義	メディアライブラリーへ	講義	メディアライブラリーへ	講義	街の散策	歩き回る
夕刻	講義	ジム	講義	ジム	夕食	帰宅	帰宅
夜	遅めの夕飯	予習	遅めの夕飯	予習	友人たちと談笑	復習	予習